

一面の緑とおいしい空気に感動 とても楽しかった農業体験



古川克彦さん
(緑が丘中3年)

平泉の農家に民泊させていただき、農作業をする緑中独自の修学旅行も僕たちで13回目となりました。僕たちはこの日を前から楽しみにしていました。そんな僕たちを農家の方々は大歓迎してくださり、リンゴの手入れなどの農作業も教えていただきました。温かな団らんに加えていただき、家族が増えたような気持ちでした。後輩もぜひ同じ体験してほしいと思います。



齋田里沙さん
(緑が丘中3年)

農作業に使う道具類など、見るのも初めてのものばかりで「自分でできるだろうか」と不安でいっぱいでした。でも、次第に慣れ、豆の苗を植えるのに夢中になりました。農家の方々はとても優しく、外で食べたバーベキューも最高でした。今回させていただいた貴重な体験をこれからの生活に役立てたいと思いました。また伺ってみたい。今もそんな思いでいっぱいです。



石川 新さん
(緑が丘中3年)

冷たい川の水で稲作のための農機具を洗うのは、とても大変でした。でも農家の方々優しく接してくださったので楽しく作業できました。夕飯でいただいた食べ物もおいしいものばかりで何度もお代わりしてしまいました。農作業の後で山に連れて行っていただきました。岩手の大自然に触れられて満足感いっぱいでした。農家の方々、本当にありがとうございました。



松山莉奈さん
(緑が丘中3年)

初めての農作業体験でしたが、すごく楽しくできました。優しくご指導いただいた農家の方々のおかげです。思った以上に農作業は大変でしたが、それだけに後でいただいたおもちの味は格別でした。農家の方々の思いがこもったおもちだと感じました。岩手で過ごした3日間はいつまでも忘れたいと思います。この最高の思い出は、緑中生の宝物です。ありがとうございました。



作業の合間に笑顔でパチリ！
(小笠寺金市さん宅宿泊生徒)



「元気に育つね！。お願いを頑張らな！。めな！。摘果しながら！。葉をかき取りながら！。宿泊生徒さんへ感謝！」



「こうすればいいんだよ。」指導を受けながら、丁寧に苗箱を洗った(菊地良治さん宅宿泊生徒)

修学旅行で農業体験を「ひらいずみ型農業実践協議会(丸山安四会長)」では事業の一環として、農業体験学習の受け入れを行っています。今年5月26日に神奈川県相模原市立緑が丘中学校の3年生153人が来町。39戸の農家に分かれて民泊し、田植え作業や牛の世話、畑作業などを体験しました。今月号では、受け入れてくださった農家の方々と、生徒たちの感想を紹介します。



上 シイタケの菌の植え付け(千葉昭夫さん宅宿泊生徒)/
右 サトイモの苗の植え替え(菅原正義さん宅宿泊生徒)/
左 くわを使った畑掘り作業(小笠寺金市さん宅宿泊生徒)



千葉なか子さん
(15区)

農業体験学習は平成7年の初回から受け入れています。今回は、素直で明るい4人の女の子たちがわが家を訪れました。作業では、リンゴの摘果を体験してもらいました。単調な作業ながらも、興味を持って積極的に取り組む子どもたちの姿にとっても感心させられました。作業後は大文字山に登り、平泉の景色を見渡しました。苗を植えたばかりの水田が、美しく光る風景に、子どもたちも感動したようです。

家の中では、おやつやリンゴ大福や夕食のおもちと一緒に作りました。おもちをよほど気に入ったらしく、たくさん食べてくれて、私もうれしく感じました。子どもたちにとって今回の体験が、一つのいい思い出になってくれればうれしいです。今後も子どもたちが来てくれる限り、受け入れを続けていきたいですね。



菊地良治さん
(21区)

わが家では今回、4人の男子の子を受け入れました。子どもたちは初日の正午過ぎに着いたのですが、孫と作った歓迎の横断幕で迎え入れると、とても喜んでくれました。まずは川での苗箱洗いを体験してもらいました。効率のいい作業の仕方などを説明しながら、2時間かけて約350枚の箱を洗ってもらいました。一生懸命取り組んだ子どもたちのおかげで、私たちも大助かりでした。続いて近所の水田に出掛け、田植え機械に乗せると、子どもたちは作業の疲れも忘れ、大はしゃぎで喜んでいました。夕食では、もちやご飯をたくさん食べてくれました。わが家でお代わりの声を聞くのは久しぶりなので、とてもうれしく思いました。素直でいい子どもたちとの交流は、楽しい時間でした。今後も声が掛ければ、受け入れていきたいものです。